

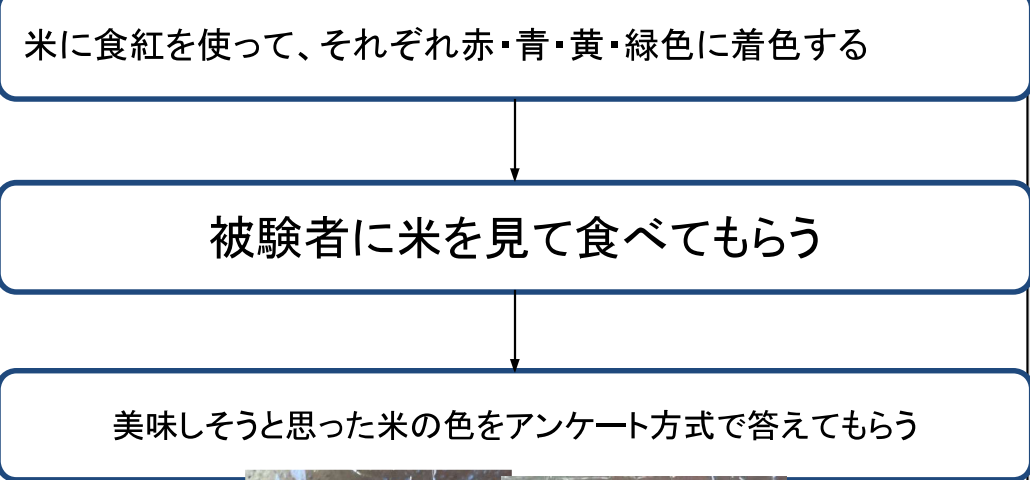
食欲が湧く色で消費を促そう

宮城県仙台第三高等学校 31班

1. 背景と目的

ある夜、スーパーに買い物にいったところ、たくさんの商品が売れ残っていたため見た目を良くして、より美味しそうな商品を作りたいと考えた。そこで色を工夫することで買ってもらえるのではないかと考えた。

3. 材料と方法



結果と考察

<https://docs.google.com/presentation/d/1gs2FOoXYW17UIWWp0a9ruPZDFRPNiC1VAG63aDkC4yQ/edit?usp=sharing>

2. 色と感情に関する論文と考えられること

（測定・解析方法）色彩刺激(赤、黄、緑、青等の)10色を用いて心理評価を行った評定尺度は PANAS のポジティブ・ネガティブ感情10項目ずつの計20項目。感情尺度は現在の感情の程度について“非常によく当てはまる(6点)”から“全く当てはまらない(1点)”の6件法で採点する。得点が高いほど該当する感情が高いことが示される。

▶(結果)
黄、赤、黄赤の 3 色が特に高い得点であった。黄では黄緑・緑・青緑・青・青紫・紫・赤紫で 有意差、赤は青緑・青紫・赤紫で有意差、黄赤 は青緑・青紫で有意差がみられた。

▶(仮説)
彩度が高いもののほうがポジティブな印象を与えたため、食欲を増進させる。

http://pejaue.xsrv.jp/pdf/2017_40s1_01.pdf色彩刺激がポジティブ感情やネガティブ感情に及ぼす影響

4,パッケージの色と感情の関係

三高の生徒を対象に1番良く見えたパッケージと一番良く見えなかったパッケージを答えてもらう

https://docs.google.com/presentation/d/1w4cF2aePdwPiaj_Wwfk_QOb4lA219i2PSu52fxGoJkA/edit?usp=sharing

結果 ▶赤色が一番良く見えると答えた人が多く青色とグレーが良く見えなかったと答えた生徒が多かった。

まとめ
実験から色度の高い色を使うことで受け手に良い印象を与えることが分かった。
人のポジティブな感情に働きかけることが問題を解決するための有効な手段だと学んだ。

参考文献

<https://ir.lib.shimane-u.ac.jp/files/public/0/1051/20170425012614753599/b002002800k005.pdf>